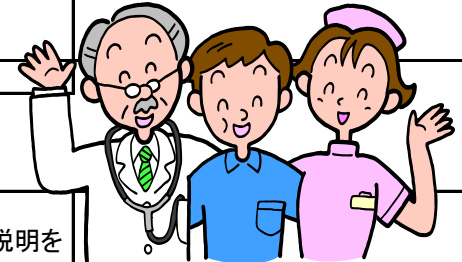


胆のう炎・胆管炎の保存的/ドレナージ挿入の看護ケアマップ

ID @PATIENTID

患者名 @PATIENTNAME

月/日	/		/		
経過	当日検査前	当日検査後	治療1日目	2~7日目	退院日
達成目標	◇安全に治療を受けることができる	◇安静や飲水制限が守れる ◇腹痛・吐き気などの異常を医療者に伝えることができる	◇食事制限が守れる ◇治療後の方針が決定されている		◇チューブの管理ができる ◇不安なく退院できる
観察	体温・血圧・尿量・腹部症状を観察します	体温・血圧・尿量・腹部症状を観察します チューブ挿入後は胆汁の量や性状の観察をします			
安静度	自由です	ベッド上安静です 医師の指示により動ける範囲をお知らせします	医師の指示により動ける範囲をお知らせします		
食事	朝から欠食です	欠食です	食事は医師の指示で始まります 状態に合わせた食事となります。	必要時、栄養士による 栄養相談があります	脂肪を控えた食事にしましょう
清潔			体を拭くためのタオルを配ります		
排泄	必要時尿の管を入れます 医師の指示がある場合、尿量を測定してもらいます。		安静解除とともに尿の管を抜きます		
治療・処置	入院後、点滴をします。 ドレナージが必要な場合レントゲンテレビ室で治療を行います	点滴は続けて行います		チューブ挿入部の消毒とガーゼ交換を行います	チューブ管理の説明を行います
薬剤	常備薬を教えてください (中止が必要な場合があります)			必要時薬剤師による 薬剤説明があります	
検査	採血・レントゲン・心電図・腹部エコーなどの検査があります		医師の指示により採血やチューブ造影を行います		
説明	治療の同意書を提出してください 入れ歯や指輪・時計などの貴金属類ははずしてください 治療前に緑の検査衣に着替えます 治療中、ご家族は待合室で待機をしていただきます	患者さんの安全を確保するため 行動制限のお願いをする場合があります	治療結果について医師より説明があります	【退院後の生活について】 決められた外来受診日に受診しましょう 腹痛や発熱が続くときや、お腹がはりおかしい時、チューブの挿入部が赤くはれたり痛みを感じた時、排泄の色がいつもと違う色であったり、急に少なくなった時など、異常を感じた時は 消化器外来に受診してください	



年 月 日 市立四日市病院(病棟)

本人・家族